

My life in Kuji



**エリカ・ブロック** さん  
ケンタッキー州・22歳 / 夏井小、久喜小、小袖小、久慈中、宇部中、山形地区の小中学校を担当

Labor Day

久慈の皆さん、はじめまして！9月から久慈に新しく着任したエリカ・ブロックです。これからよろしくお願いします。

初めての日本なので、いろいろなイベントやALTの仕事を通して日本について学べることをとても楽しみにしています。

久慈秋まつりが近づくと、アメリカでのさまざまな秋の訪れを思い出します。アメリカでは多くの方がレイバー・デイ（9月第1月曜日、労働者の日）を夏の終わりの象徴としています。このレイバー・デイは労働運動やその活動者を称えるもので、花火を上げたり、家族や友人と過ごしています。

また、本格的に秋が始まると、ハロウィン用のカボチャやリンゴを求めに、パンプキンパッチと呼ばれるハロウィン用カボチャの販売所や、リンゴ園に向かいます。（ハロウィンの本場イギリスやアメリカではリンゴを使って祝うこともあります）日本では、これからの紅葉が待ち遠しいです。

市民

センターだより



侍浜市民センター  
☎ 58-2110

わが郷土・侍浜への熱い気持ちを胸に！

侍～はまおど塾～

侍浜市民センターでは、平成27年6月に結成された地域団体「侍～はまおど塾～」（林崎和志塾長）の活動を支援しています。

「侍～はまおど塾～」は、侍浜町在住者を中心とした有志が集まり、侍浜の活性化を目的としたさまざまな事業を実施しています。毎月開催している例会で、和やかな雰囲気の中で「どうすれば侍浜が元気になるか」を考えて事業の計画を話し合っています。時には侍浜で獲れた新鮮な魚をつまみにしながら議論することもあります。

今後の事業として、12月に三陸鉄道を利用しての若い男女を対象にしたセミナー・クリスマスパーティーを計画しています。

はまおど塾では塾生を随時募集しています。塾生は侍浜在住の人が中心ですが、侍浜への熱い気持ちを持っている方であれば、住んでいる場所は問いません。興味をお持ちの方は、お気軽に問合せ下さい。

きらり人輝く

2017 産経ジュニア書道コンクール  
高校生 A 部門 奨励賞受賞

書道の魅力を伝えたい

本年7月に全国の幼・小・中・高校生を対象とした「2017産経ジュニア書道コンクール」の高校生A部門で奨励賞を受賞した新井野さん。奨励賞は同部門の中では上位3番目の賞となります。9,000点を超える作品の中から同賞に選ばれた喜びや、書道から学んだこと、これからの目標について聞きました。

Name

**新井野 真勝** さん  
いの・まさかつ（川貫 18歳）

Profile

久慈市川貫出身。久慈東高校3年生。  
囲碁将棋部所属、生徒会執行委員  
興道館晴山書道教室 生徒  
書道・臨泉会学生部3段修了  
華道・草月流4級師範  
将棋・岩手県A級

■受賞の感想

今までに市の芸文祭や書道展に出展はしていましたが、全国規模のコンクールに出展し入賞したのは今回が初めてでした。このような賞をいただいて、最初は驚きで実感がなかったのですが、本当に光栄で、うれしいです。

■書道を始めたきっかけは？

小学校2年生のとき、書道を習っていた兄の影響で始めました。中学校1年生の時に一度辞めていた時期がありましたが、中学校2年生のときに再開し、晴山書道教室に通うようになりました。

■書道を習って良かったことは？

漢字の成り立ちや書き順が分か

るようになったことや、集中力がついたことです。他の勉強にも役立つことが多いと思います。

■書道での思いでは？

印象に残っていることは、本年の1月に姉妹都市のフランクリンに訪問したのですが、そのなかの文化交流で書道を発表したことは、とても良い思い出です。

■今後の目標は？

あと半年で高校を卒業することになりますが、久慈市内に就職できればいいなと思っています。社会人になっても、書道を続けていきますし、今後は書くだけでなく、久慈地域の子どもたちに書道の面白さを伝えて行きたいです。



賞状を手に遠藤市長と記念撮影

協力隊 とうしん

**宇部 芳彦** さん  
(うべ よしひこ・53歳)  
2015年着任。久慈市出身。地域づくり振興課に所属し、地域の情報をSNSでPRしている。



小国の心を記念誌に

山形町の小国小学校が来年3月31日をもって閉校し、山形小学校に統合されることになりました。

現在、地域住民が組織する閉校記念事業実行委員会では記念誌の発行を来年1月に、記念式典を3月に予定しています。

「記念誌制作を手伝ってほしい」と指名いただき、委員会の記念誌部会部長、校長先生、私の3人が中心になって編集を進めています。記念誌では歴任教職員や卒業生など関係方々から寄稿をいただいておりますが、その原稿を読むと思わず涙がにじんできます。子どもたちに注がれる愛情の深さ、地域にとってどれだけ大切な学校だったのか…。子どもたちの将来を考えた末の決断と聞きましたが、それであっても断腸の思いだったことなどが心に突き刺さってきます。

みなさんの思いを最大限に汲んだ記念誌を遅れなく発刊したいと、汗をかいている毎日です。

●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。地域おこしの支援（地域行事やイベントの応援、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、情報発信など）や農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

集まれ！ 元気の輪

踊りグループ千鳥会

代 表：中塚 澄子さん  
活 動 日：毎週水曜日 13時～17時  
活動場所：中央市民センター  
問合せ先：53-0648

講師から新舞踊の振り付けを細かく教わるメンバー



久慈地域の女性約20人のメンバーで活動している「踊りグループ千鳥会」。歌謡曲や演歌などの曲に振り付けて踊る新舞踊を、毎週水曜日に中央市民センターで練習しています。

月2回は講師が指導に来てくれるので、初心者でも全く心配いりません。良い運動になるだけでなく、和服を着て踊るのでシャキッとして姿勢も矯正されます。

メンバーは随時募集中です！代表や中央市民センターにお気軽にお問合せ下さい。